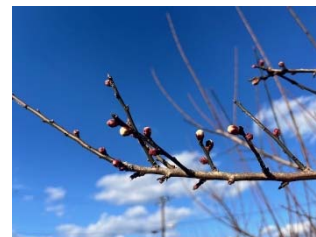


## 令和8年産 紀南の梅産地情報

2026/01/27

1. 今年産の梅の開花は、現時点の花蕾の状況から判断すると、園地によるバラツキはあるものの、全体的にやや早く主力の南高の開花始めは1月下旬～2月上旬頃からを予想している。



### ■紀南地域本部の梅の開花状況（平地標準調査地＝和歌山県田辺市中三栖）

品種 / 年		平年(H28～R7)	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
小梅	開花始め	2/8	2/10	1/19	2/25	
	満開期	2/16	2/15	1/29	2/28	
	開花終期	3/1	3/1	2/19	3/12	
	開花期間	22日	20日	32日	16日	
古城	開花始め	2/17	2/17	2/7	3/1	
	満開期	2/24	2/24	2/16	3/5	
	開花終期	3/8	3/12	2/27	3/18	
	開花期間	21日	24日	21日	18日	
南高	開花始め	2/7	2/11	1/20	2/27	
	満開期	2/15	2/16	1/30	3/2	
	開花終期	2/28	3/1	2/19	3/12	
	開花期間	21日	19日	31日	14日	
作柄			開花期間短く 気象変動大 5月低温、6月 少雨肥大鈍る 平年作	早期開花・開 花期間長く 気象変動大 3月低温・降雪 凶作	開花期間が短 く気象変動大 1～3月低温 4月広範囲で 数回の降雪 不作	

2. 1月22日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、小梅は前年・平年並み、古城は前年・平年並み、南高は前年・平年共にやや少ない。

### ■基準園の着蕾数（1年枝100節当たりの平均着蕾数）

品種 / 年	令和8年	令和7年	令和6年	前年比	平年比
小梅	86.3	90.6	83.3	95%	95%
古城	90.8	94.3	77.8	96%	101%
南高	47.4	58.2	51.2	81%	82%

3. 作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。4月・5月には作柄を把握するため着果数、果実肥大調査を実施する。